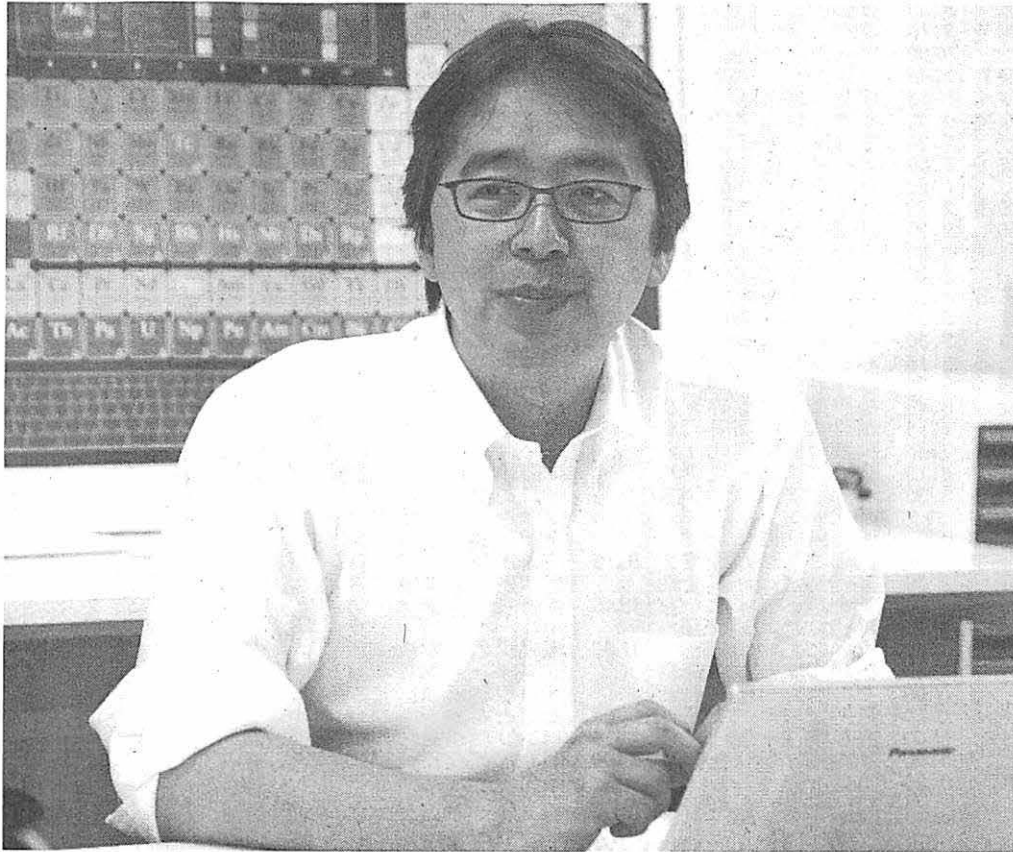


あの人とこな話

「考える」と「悩む」は違う。考え抜いた先に道はある。



J Prep 斉藤塾 代表

斉藤 淳さん

さいとうじゅん ●1969年山形県生まれ。上智大学外国語学部英語学科卒業、イェール大学大学院博士課程修了。ウェズリアン大学客員助教授、フランクリン・マーシャル大学助教授、イェール大学助教授、高麗大学客員教授を歴任。2012年に帰国し、東京・自由が丘と故郷の山形・酒田に中学・高校生向けの英語塾(現・J Prep 斉藤塾)を起業する。著書「世界の非ネイティブエリートがやっている英語勉強法」など。元衆議院議員(02~03年)。

米

国の名門大学で助教教授として政治学を教えていた斉藤さんが、東京と故郷の山形で中高生向けの英語塾を始めたのは2012年のこと。帰国は母親の介護を行うためだったが、これを機に起業の道を選んだ。

10代から英語が好きで、よく短波ラジオで英語の実況中継や洋楽を聴いていた。大学時代、米国へ留学して議論中心の授業に感動。自分の能力が高まっていく感覚が心地良く、そのまま院生として同国に残り政治学を学ぶ。

そんな中で芽生えたのが「いつか日本の教育を変えたい」という思いだった。そこで02年に衆議院議員となり、教育改革を試みるも翌年の総選挙で敗退。再び渡米し、6年間の助教教授生活を経て今度は新たな教育の場に立つ。実践で思いを形にするために。

「以前から日本人の英語力が他国に比べて低いことに危機感を抱いていた。僕一人の力で教育を変えることは難しいけれど、米国での経験を

ベースにした英語学習法を伝えることはできる。まずはそこから始めてみよう」と習って正解を覚えるような勉強ではなく、学んで問いかける楽しみを伝えたい。教室で互いに問題を提起し合えば、先生はもちろん友達からも新しいことが学べるし、自分の考えを深めることができる。

「米国式が全ていいとは思っていないが、教室文化の良いところを取り入れ、英語力と共に思考力も身につけてもらい、人の意見を聞き、自分の意見が言える人材を育成する。それが僕の今の使命です」議員、学者、教育者。振り返ると計画性のない人生。「でも、いつも自分が大事に思うことを仕事にできた。それは幸せなこと」。どうすれば社会で役立てられるか、その時の自分にとって何が重要なのかを問いかげながら進んできた。

「考える」と「悩む」は違う。僕は悩まない。考え抜き、やると決めたら身を挺してでもやる。自分の意志を貫いてきた人のタフさがある。